

FUTUREFLIGHTグループ 一般社団法人フードバンクセンター(札幌市)



提供されたたくさんの食品等



FUTUREFLIGHTグループの皆さん

◇【団体発足の経緯】

- ◆ 障害者、シングルマザー、ヤングケアラー、出所者等の支援に関わったことがきっかけとなり、フードバンク活動にたどり着いた。

◇【活動の概要】

- ◆ 食品は、スーパーマーケットやイベント会場にてフードドライブを通じて寄付をした個人や食品製造業者、農家から提供されている。
- ◆ 食品は、福祉施設やこども食堂へボランティアのスタッフが配送している。
- ◆ フードパントリーで個人への食品支援会を開催すると同時に、ソーシャルワーカーによる生活相談会を実施している。

【組織の概要】

- 団体名: FUTUREFLIGHTグループ
一般社団法人フードバンクセンター
- 所在地: 札幌市中央区
- 代表者: 釜澤 剛瑩
- 活動人数: 20名(ボランティアを除く)
- 活動開始時期: 2021年
- HP: <https://www.foodbankcenter.info>
<https://futureflight.co.jp>
- 北海道フードバンクネットワーク加盟
- 取扱品: 加工品(常温)
- 提供の条件: 賞味期限が1か月以上あるもの

【取組む際に生じた課題】

- ◆ 道内で食品を流通させる際にコストがかかる。
→ フードバンク団体同士で連携しながら流通のネットワークを効率化する必要がある。
- ◆ 個人支援の食料の仕分け、袋詰め、電話対応等、人手が不足している。
- ◆ 提供いただく食品と需要の高い食品がマッチングしないこともある。

フードバンクセンターの食品取扱いのフロー図



【今後の展望】

- ◆ スタッフを揃えて様々な人材を活用し、支援の輪を広げたい。
- ◆ 一定量の食品を安定的に企業等から提供していただくシステムを構築したい。
- ◆ 常温だけでなく、冷蔵・冷凍の食品を取扱いたい。
- ◆ 資金・食品の支援をいただける企業等の力をお借りしながら、生活困窮者への支援活動を継続したい。